

矢巾東地区地域カルテ作成にあたり地域からいただいたご意見

〈次回の検討事項〉

○写真について

- ・医大近くに見えるショッピングモールも今後載せたい。

○地域の宝について

- ・歴史的価値のある郷土芸能、史跡などは理解できる一方、「それだけなのか…と感じる部分がある。カルテ作成にあたって「地域の宝」をどのように定義して意見が集められたか背景は読み取れないが、例えば子どもであれば「遊べる場所（公園など）」が地域の宝として挙げられるかもしれないし、もう少し視点のバリエーションがあっても良いと感じる。

○コミュニティ活動について

- ・集会所をはじめとした施設等（ハード）の情報はよく分かったが、もう少しコミュニティ活動（ソフト）の実態を把握したい。地域コミュニティの行事一覧、サークル活動の存在等が分かるともう少し地域の実態や課題感が分かってくるかなと思う。

○作成メンバーの属性について

- ・素案作成にあたっての構成メンバーの属性（年代・性別・役職など）が知りたい。「地域の困りごと」で挙がっている案は事実かと思う一方、特に若い世代（子ども若者）の意見がどれくらい反映されているのか少し疑問である。もしくは子ども若者に特化して地域について考えるワークショップを開催していただきたい。

○開催時間について

- ・もう少し早く（1時間くらい）してほしい（高齢者）。
- ・逆に遅い方がいい（比較的若い人）。

○意見聴取の方法について

- ・回覧で短期間だと厳しい。

現在、要望はコミュニティ会長を通して、と行政から指示があるが、そうになると、なかなか言えない。

- ・メール・電話・意見書以外の方法（たとえばオンライン回答フォームなど）を増やしてもらえないか？セキュリティの問題があるかもしれないが、回答側とすると大変ハードルが高いし、小さい町がゆえに氏名を記入するのがとても億劫に感じる。

○研修会の回数について

- ・回数が多いと負担が大きくなるので検討して欲しい。

○周知について

- ・地域カルテを作成していることを知っていれば、いち住民として作成メンバーとして関わりたかったので、もう少し作成プロセスを定期的に発信するなど情報発信に力を入れてもらいたい。

〈感想〉

- ・分からないことや様々な意見を知った。住みやすい町になるように。
- ・色々な方とお会いできて良かった。
- ・パスポートをどう活用するかを今後検討する必要がある。
- ・矢巾でやっていることを知る機会になった。
- ・持っている課題は、どこも同じ。持っている課題を横で連携していけたら。昔からいる人も、最近来た人が思う課題を納得できるようにしたい。
- ・矢巾東地区のいいところをたくさん知ることができた。
- ・自分の地区以外の情報が知れてよかった。

〈スローガン実現に向けやってみたいこと〉

- ・担い手がおらず、役員を引きうけたが、感じることを役場に伝える窓口となった。環境を変えるために、課題を伝えていきたい。
- ・子供会で伝統をつないでいきたい。活動を続けたい。
- ・下北は、近隣所の状況が分かる地域だったが、最近は3世帯が集まる機会が少なくなり、顔がみえる機会を作りたい。
- ・コロナ以降、子ども会と地域コミュニティの活動の歯車がずれてきた、うまく連携し、前に戻したい。
- ・新しいことをやりたくても、なかなか反応がない。
- ・役員のなり手がいないが（悩み）、子ども、高齢者との交流をやってみたい。
- ・農家と非農家の交流、空いている土地を活用した市民農園をやってみたい。
- ・子どもたちに色々な職業を知ってもらいたい。

その他、地域カルテ作成ワークショップ全体に係るご意見

- ・地域カルテの作成により、今後の地域づくりに活用していくとのことだが、町としての方向性、考えも知りたい。
- ・ワークショップ形式だけでは、広く住民の声を反映させることは難しいのではないか。
- ・矢巾町の基幹産業である農業をどのように発展させていくかというビジョンにも触れられるといい。